

# なくせ貧困・格差 08春闘 要求実現!



## 区民要求実現へ 予算修正案を提出

日本共産党  
日区議

この間、後期高齢者医療制度、住民税の大幅負担増や国保料や介護保険料の引き上げ、原油高騰による物価の値上がりなどが区民生活に重くのしかかっています。

区長提案の予算には、貧困と格差に苦しむ高齢者や障害者、低所得者への生活支援策はほとんど盛り込まれていません。

特に「行革」を口実に国民健康保険料や保育料の値上げ、保育園の民営化促進など、従来どおりの区民負担増と民間委託を促進、区民に痛みを強

江東区民春闘共同委員会は、「パート・派遣の賃金引き上げ、サービスマン業分の支払いを」「食費の値上がりで家計は火の車、賃金あげよ」「憲法改悪反対」「消費税値上げやめよ」などの要求をかかげ、「今こそ労働組合の力を発揮して希望もてる職場・地域を」とよびかけています。「安心できる医療を」も春闘の課題で、区民の切実な要求です。

有明の「癌研労組」取材しました。

### 看護師増やし安心医療を

3年前大 労働組合は2月「医師・塚から江東 看護師などを大幅に増員区有明に移 するための法改正を求め転じてきた 「癌研究会」を区議会議長宛に提出しています。

有明病院。 同労組は、結成以来、

### 区民負担の軽減 でくらしを守る

- ◎所得125万円以下の高齢者の住民税を非課税に(1億2千万円)
- ◎中小商店、障害者作業所のこみ処理手数料の負担増の中止(6147万円)
- ◎障害者・難病患者へのタクシー券支給の拡大(2億5383万円)
- ◎中小企業融資の利子補助の拡充(3200万円)
- ◎木造住宅・マンションの耐震改修助成の拡充(5億4900万円)

### 教育・子育て、 福祉の充実を

- ◎認可保育園の増設、(7億5500万円)
- ◎保育料値上げ中止(2億1351万円)
- ◎出産費用の助成(2億1500万円)
- ◎小学1年生の35人学級実施(1億2500万円)
- ◎重度介護手当の支給(2億4840万円)
- ◎介護保険料・利用料の軽減(7093万円)



組合員・職員、患者さんの要求を実現し、医療改善に取り組んできました。全寮制、院内保育所、大部屋の差額ベッドの全廃、パート職員の賃上げ、一時金の支給・有給休暇制度等です。

これまで賃上げや一時金でも大病院と肩を並べる成果を上げてきました。春闘アンケートには「とにかく疲れる。給料安い。やめて当たり前」「時間外労働が多い。ほ

### 今年こそ大幅賃上げを

「とにかく疲れる。給料安い。やめて当たり前」「時間外労働が多い。ほとんど不払い」等寄せられています。集約の結果は「とても疲れる70・8%」「やや疲れるは27・4%」あわせて9割以上の看護師さんが疲れると答えています。病棟では早出や勤務時間が終わっても引き継ぎなどで1〜2時間の超過勤務は当たり前。サードシフトは、大半が家内工業で労働組合運動はまだなく、全国的にも甲府の雨宮製糸場で百人余の女性労働者が労働条件悪化に反対しストライキを起して勝利。各地に労働組合結成の動きはみられたが、メーデーを



書記のAさんは「大塚の時にくらべ食堂も休憩室も小さく職員がゆっくゆり休む場所がないんですよ。勤務時間も複雑で話し合いをすることが大変なんです。今日も組合ニュースを食堂の前で手渡したて歩きました。大幅賃上げとともに組合の必要性を職員のみならず、組合員に知ってもらい、組合員を拡大することも今後の課題です」と語ります。

### 雑言

メーデーの起源はアメリカの労働者が一八八六年五月一日に行った八時間労働制要求ゼネストを記念し、一八八九年、第一インターナショナルが国際労働運動デモンストレーションの日としたことでよく知られている▼当時(明治十九年)の日本はどうだったのだろうか。江東では石川島造船所や浅野セメントがあったが、大半が家内工業で労働組合運動はまだなく、全国的にも甲府の雨宮製糸場で百人余の女性労働者が労働条件悪化に反対しストライキを起して勝利。各地に労働組合結成の動きはみられたが、メーデーを行う状況にはなかった▼十九年後の一九〇五年五月一日、「メーデー茶話会」が平民社で開催され八時間労働制が話し合っている。三四年後の一九二〇年、日本最初のメーデーが上野で行われた▼労働条件の改善は、絶え間ない対話と共同、そして行動のなかで勝ち取られてきている。身勝手な財界に追従する政府の新たな労働条件の破壊に対して、「人間らしく働くルール」の確立は、これからが正念場といえる。





江東健康友の会9条の会、第3回平和ツアー「深川地域の東京大空襲慰霊碑めぐり」三好町良信院 3月8日

# 東京大空襲を語り継ぐつどい

3月8日、九条の会講演会や国際女性デー中央大会が開かれたなかで、江東ではカメリアホールで63年目を迎えた東京大空襲を語り継ぐつどいが開催されました。入場予約制にもかかわらず、NHKなどマスコミが取材する会場の400席は埋めつくされました。

第一部は疎開先で生地 建立や平和都市宣言に尽力し、戦災資料センター顧問、江東9条の会よびかけ人として精力的に活動する原典は東京大空襲の悲惨な体験でした。生後一年三ヶ月の長男を抱えて三之橋から堅川にとびこみ、役に継いで橋の上の両親と最後の別れとなった視線を交わす場面で、思わず声を詰まらせる語りに会場は静まりか

## 平和の原点・空襲体験を語る

空襲体験を語ったのは戦後森下で町工場の主婦であった橋本代志子さんです。区役所前の母子像

えりました。「その時助かった長男の子どもに今日も車に乗せてもらってきました。こんな悲惨な戦争の話をするのは私を最後にしたものです」これが橋本さんの結びのことばでした。

の6年生が舞台に並びました。1945年3月25日、小名木川小の前身である小名木川国民学校高等科の女子生徒は卒業式を迎えるはずでしたが、3月10日の大空襲で校舎は焼失、幻となってしまったのです。62年後の10月27日、小名木川小開校60周年記念行事として、健在だった当時の担任、仲尾先生(83才)から16人の卒業生に卒業証書が渡されることになったのです。そして今年2月23日、戦火に消えた小名木川国民学校跡に慰霊碑として建立された、石田波郷の句碑「百万の焼けて年逝く小名木川」の除幕式が執り行われました。

卒業を間近かにして、戦災資料センターで東京大空襲の体験と実相を学んだ小名木川小6年生の3人の代表は、学校関係者や保護者に見守られて平和と命の尊さを実感を込めて語り、参会者の盛大な拍手を受けました。

第二部は早乙女館長の挨拶で始まりました。この一年のセンター入館者が開館以来最高の1万4千人。国や都がこれだけの犠牲に背を向けている

なかで、体験を語り、学ぶことが戦争を防ぐ一歩になると述べ、TBSやNTVが3月10日を主題にした映画を放映し、世論に影響を与えていくことを紹介して、民立民宮のセンター維持への協力と若い世代へのバトンタッチを訴えました。

## 知らない世代からのメッセージ

次に登場したのはセンター山本唯人研究員が紹介する、5人の大学生や専門学校生で構成するアート集団・VOICEの映像作品です。空襲の記録や体験者の証言にもとづいて、当時の仮埋葬地、弾痕が残る工場の廃墟などが今の平和な街並みから浮き上がってきます。

62年目の卒業証書、そして今

講演「二度とあってはならぬこと」

小山内美江子氏

「3年B組弁先生」の脚本家として著名な小山内さんは杖をついて登壇し、脚を骨折しポルトを入れた「筋金入りのおばさん」と自己紹介。

## 4・5月の行事案内

- 13日(日) 10時 年金組合(春の演芸大会) 砂町文化センター
- 24日(木) 16時 教育研究会全体会(地下) タイアップ(東)
- 28日(月) 14時 講師 堤 未果
- 年金学習会、産業会館(東陽町)
- 講師 長谷川陽子
- 5月6日(火) 12時 30分、国民大行進 出発、夢の島第五福竜丸展示館前



卒業生代表 小名木川国民学校高等科6年生

最後に小名木川国民学校高等科の4人の卒業生と小名木川小学校の3人

# 庶民大増税許さない!



3.13重税反対全国統一行動に連帯して、江東では市民会館、土建組合員ら300人が猿江公園に結集。東・西税務署にむけて統一申告の隊列を組んでデモ行進を行いました。

## 風土記はお休みします

戦争体験を語り継ぐ官々たる活動が、マスコミをも動かし、戦争を知らない世代の中に頼もしい後継者を育ててきていることを実感させてくれたつどいは、実行委員会を代表した中山伸都教組委員長挨拶で閉会となりました。